

株主総会における本市の発言要旨

関西電力においては、業務改善計画で示される様々な仕組みを着実に実行し、再発防止策の進捗状況や結果を定期的に公表する等、決して一過性の取組として終わるのではなく、継続的に改善して、社会からの信頼回復に取り組んでいただきたい。

1. ゼロカーボン社会実現への貢献について

ゼロカーボン社会の実現には、電力・エネルギー分野におけるリーディングカンパニーとして、関西電力の果たすべき役割は非常に大きいと考えている。

再生可能エネルギーの最大限導入・主力電源化を軸に、水素エネルギーの利活用拡大、火力発電のゼロカーボン化等を積極的に推進していただきたい。加えて、再生可能エネルギーを最大限利用するために、電力系統の整備や、蓄電池・水素等を活用した蓄電機能等の創出を、早急に進める必要があると考える。

そこで、ゼロカーボン社会実現への貢献について、今後の方針と具体的な取組を伺う。

2. 電力の安定供給と電気料金の高騰抑制について

電力エネルギーは市民生活及び社会・経済活動の基盤であり、安全・安心の確保に向け、電力の需給バランスを維持し、市民生活や経済に及ぼす影響を最小限にとどめるよう取り組むことが必須である。

ロシアのウクライナ侵攻を端緒としたエネルギーをめぐる厳しい世界情勢は長期化しており、電力の安定供給に向けては、エネルギー源の安定的な確保がますます重要な課題になると考える。加えて、燃料価格の上昇による影響を安易に電気料金に転嫁せず、経営の合理化、効率化により、価格の高騰を抑え料金の安定化に取り組むべきである。

そこで、電力の安定供給と電気料金の高騰抑制について、今後の方針と具体的な取組を伺う。